

演習問題 5 の解答

問題 5.1 の解答

最大せん断応力が 130 MPa のとき、式(5.1) より

$$130 \times 10^6 = \frac{16M_t}{\pi \times 0.25^3 \left[1 - \left(\frac{18}{25} \right)^4 \right]}$$

よって、負荷できるねじりモーメントは

$$M_t = 2.917 \times 10^5 \text{ N} \cdot \text{m}$$

比ねじれ角が $0.25^\circ = 0.00436 \text{ rad}$ のとき、式(5.2) より

$$0.00436 = \frac{32M_t}{82 \times 10^9 \pi \times 0.25^4 \left[1 - \left(\frac{18}{25} \right)^4 \right]}$$

よって、負荷できるねじりモーメントは

$$M_t = 1.003 \times 10^5 \text{ N} \cdot \text{m}$$

問題 5.2 の解答

AB 部分の最大せん断応力が材料の許容ねじり応力 $\tau_a = 35 \text{ MPa}$ と同じであるとき、式(5.1) より、

$$35 \times 10^6 = \frac{16 \times 9000}{\pi \times 0.14^3 \left[1 - \left(\frac{d_1}{0.14} \right)^4 \right]}$$

が得られる。この方程式を解くと

$$\left[1 - \left(\frac{d_1}{0.14} \right)^4 \right] = 0.477$$

よって、内径 d_1 は

$$d_1 = 0.119 \text{ m}$$

このとき、AB 部分のねじれ角 ψ_{AB} は

$$\psi_{AB} = \frac{32 \times 9000 \times 0.25}{82 \times 10^9 \pi \times 0.14^4 \times 0.477} = 0.00152 \text{ rad}$$

また、CD 部分ではその最大せん断応力が材料の許容ねじり応力 $\tau_a = 35 \text{ MPa}$ と同じであるとき、

$$35 \times 10^6 = \frac{16 \times 9000}{\pi \times d_0^3}$$

が得られる。この方程式を解くと

$$d_0 = 0.109 \text{ m}$$

このとき、CD 部分のねじれ角 ψ_{CD} は

$$\psi_{CD} = \frac{32 \times 9000 \times 0.3}{82 \times 10^9 \pi \times 0.109^4} = 0.00238 \text{ rad}$$

なお、BC 部分のねじれ角 ψ_{BC} は

$$\psi_{BC} = \frac{32 \times 9000 \times 0.15}{82 \times 10^9 \pi \times 0.14^4} = 0.00044 \text{ rad}$$

である。したがって、全体のねじれ角 ψ は

$$\psi = \psi_{AB} + \psi_{BC} + \psi_{CD} = 0.00435 \text{ rad} = 0.25^\circ$$

問題5.3の解答

B 部のねじれ角を ψ とする。このとき、AB のねじりモーメント M_{t1} は

$$M_{t1} = \frac{G\pi d_1^4 \psi}{32l_1}$$

であり、BC のねじりモーメント M_{t2} は

$$M_{t2} = \frac{G\pi d_2^4 \psi}{32l_2}$$

である。 $M_{t1} + M_{t2} = M_t$ であるため、式

$$\frac{80 \times 10^9 \pi \psi}{32} \left[\frac{0.02^4}{1} + \frac{0.03^4}{2} \right] = 2.5$$

が得られる。よって、

$$\psi = 0.563 \times 10^{-3} \text{ rad} = 0.032^\circ$$

問題5.4の解答

ねじれ角が $1.5^\circ = 0.0262 \text{ rad}$ のとき、

$$0.0262 = \frac{32 \times 2000 \times 1.5}{82 \times 10^9 \pi \times d_2^4 \left[1 - \left(\frac{1}{2} \right)^4 \right]}$$

よって、

$$d_2 = 0.062 \text{ m}$$

また、最大せん断応力が80 MPaのとき、

$$80 \times 10^6 = \frac{16 \times 2000}{\pi \times d_2^3 \left[1 - \left(\frac{1}{2} \right)^4 \right]}$$

よって,

$$d_2 = 0.051 \text{ m}$$

したがって, せん断応力とねじれ角の条件を同時に満たすために軸の外径 d_2 を $d_2 = 0.062 \text{ m}$ にすればよい。

問題 5.5 の解答

例題 5.1 の式(b)より,

$$3 \times \frac{\pi}{180} = 7.15 \times 10^7 \frac{H_0 \times 5}{82 \times 120 \times 100^4}$$

よって, 軸の伝える馬力は

$$H_0 = 144 \text{ 馬力}$$

このとき, 最大せん断応力は例題 5.1 の式(a)より,

$$\tau_{max} = 3.57 \times 10^7 \times \frac{144}{120 \times 100^3} = 42.8 \text{ (MPa)}$$

問題 5.6 の解答

例題 5.1 の式(a)より,

$$75 = 3.57 \times 10^7 \frac{200}{120 \times d^3}$$

よって, 必要な直径は

$$d = 92.6 \text{ mm}$$

問題 5.7 の解答

例題 5.1 の式(a)と同様に計算すれば,

$$75 = 3.57 \times 10^7 \frac{8000}{100 \times d_2^3 \left[1 - \left(\frac{1}{2} \right)^4 \right]}$$

が得られる。よって, 必要な外径は

$$d_2 = 344 \text{ mm}$$

内径は

$$d_1 = 172 \text{ mm}$$

問題 5.8 の解答

式(5.10)より

$$0.004 = \frac{64 \times 10 \times 0.05^3}{82 \times 10^9 \times 0.005^4} P$$

よって

$$P = 2.5625 \text{ N}$$

最大せん断応力は、式(5.8) より

$$\tau_{max} = \frac{16 \times 2.5625 \times 0.05 \times \left(1 + \frac{5}{4 \times 50}\right)}{\pi \times 0.005^3} = 5.35 \text{ (MPa)}$$

問題 5.9 の解答

両ばねの伸びの和が $\delta = 60 \text{ mm}$ である。式(5.10) より

$$\frac{64P}{G} \left[\frac{n_a R_a^3}{d_a^4} + \frac{n_b R_b^3}{d_b^4} \right] = \delta$$

すなわち

$$\frac{64P}{82 \times 10^9} \left[\frac{10 \times 0.05^3}{0.01^4} + \frac{15 \times 0.12^3}{0.015^4} \right] = 0.06$$

この式から荷重

$$P = 120.7 \text{ N}$$

なお、ばね a に生じる最大せん断応力 τ_a は、式(5.8)より

$$\tau_a = \frac{16 \times 120.7 \times 0.05 \times \left(1 + \frac{0.01}{4 \times 0.05}\right)}{\pi \times 0.01^3} = 32.3 \text{ (MPa)}$$

ばね b に生じる最大せん断応力 τ_b は、式(5.8)より

$$\tau_b = \frac{16 \times 120.7 \times 0.12 \times \left(1 + \frac{0.015}{4 \times 0.12}\right)}{\pi \times 0.015^3} = 22.5 \text{ (MPa)}$$